

# 大音所区防災マップ

## 地震だ！まず身の安全

- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。



## 落ちついて火の元確認 初期消火

- 火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてず火の始末をする。
- 出火した時は、落ちついて消火する。



## あわてを行動 けがのもと

- 屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



## 確かめあう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



## 避難の前に 安全確認 電気・ガス

避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。



## 我が家の緊急避難場所

## 我が家の避難のタイミング

## 緊急連絡先

連絡先	電話番号

## 避難所一覧表

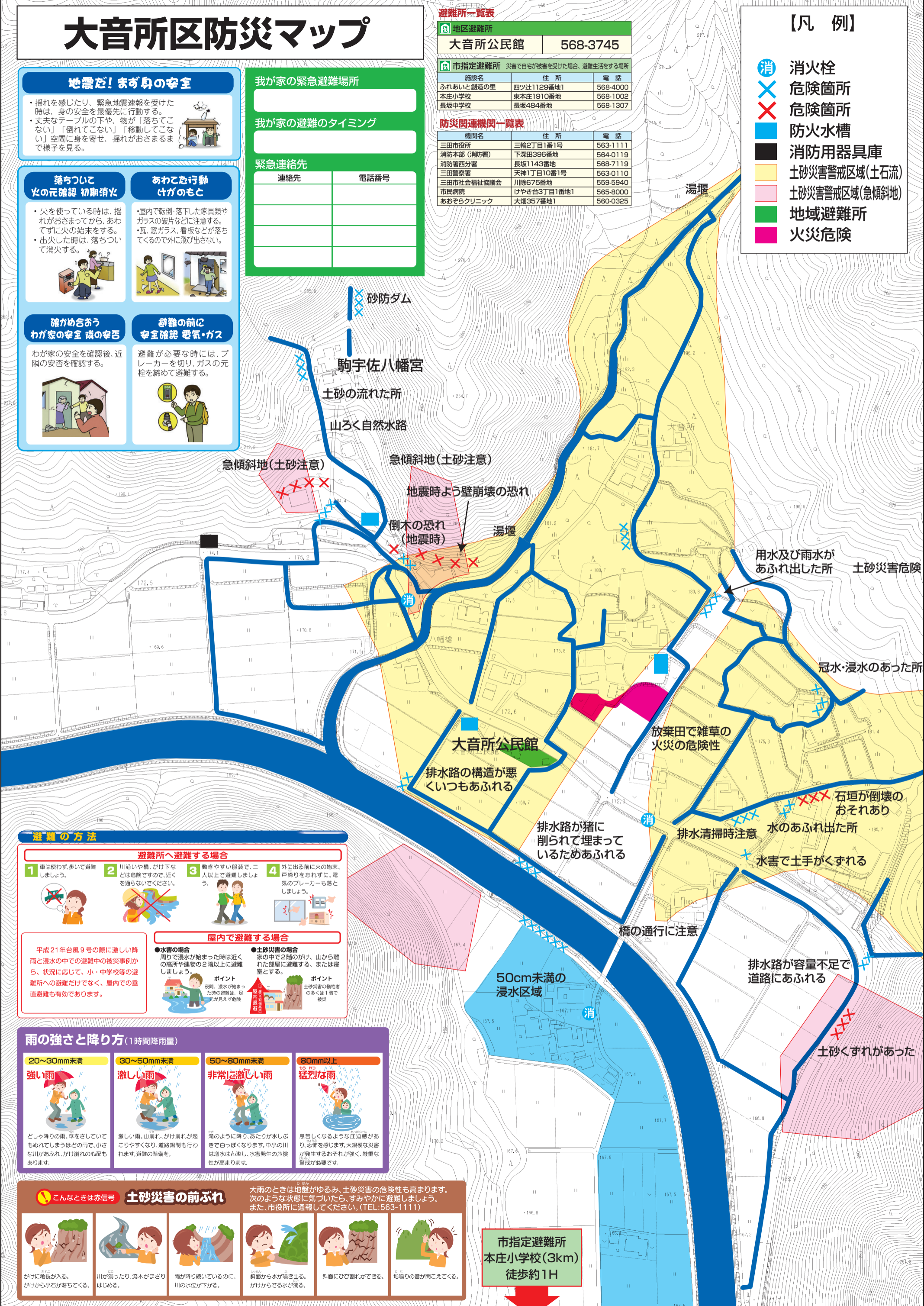
地区避難所		
大音所公民館	568-3745	
市指定避難所 災害で自宅が被害を受けた場合、避難生活をする場所		
施設名	住所	電話
ふれあい創造の里	四ツ辻1129番地1	568-4000
本庄小学校	東本庄1910番地	568-1002
長坂中学校	長坂484番地	568-1307

## 防災関連機関一覧表

機関名	住所	電話
三田市役所	三輪2丁目1番1号	563-1111
消防本部(消防署)	下深田396番地	564-0119
消防署西分署	長坂1143番地	568-7119
三田警察署	天神1丁目10番1号	563-0110
三田市社会福祉協議会	川除675番地	559-5940
市民病院	けやき台3丁目1番地1	565-8000
あおそクリニック	大畑357番地1	560-0325

## 【凡例】

- 消 消火栓
- X 危険箇所
- X 危険箇所
- 防火水槽
- 消防用器具庫
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 地域避難所
- 火災危険



## 避難の方法

### 避難所へ避難する場合

- 1 車は使わず、歩いて避難しましょう。
- 2 川沿いや橋、げげ下などは危険ですので、近くを通らないでください。
- 3 動きやすい服装で、二人以上で避難しましょう。
- 4 外に出る前に火の始末、戸締りを忘れずに、電気のブレーカーも落としましょう。

### 屋内で避難する場合

- 水害の場合  
周りで浸水が始まった時は近くの高所や建物の2階以上に避難しましょう。
- 土砂災害の場合  
家の中で2階のげげ、山から離れた部屋に避難する、または寝室とする。

## 雨の強さと降り方(1時間降雨量)

20~30mm未満	30~50mm未満	50~80mm未満	80mm以上
<b>強い雨</b>	<b>激しい雨</b>	<b>非常に激しい雨</b>	<b>猛烈な雨</b>
どしゃ降りや、傘をさしていてもぬれてしまうほどの雨で、小さな川があふれ、げげの心配もあります。	激しい雨。山崩れ、げげが起き、道路規制も行われます。避難の準備を。	滝のように降り、あたりが水がぶきで白っぽくなります。中小の川は増水はん蓋し、水害発生の危険性が高まります。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。大規模な災害が発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要です。

## こんなときは赤信号 土砂災害の前ぶれ

大雨のときは地盤がゆるみ、土砂災害の危険性も高まります。次のような状態に気づいたら、すみやかに避難しましょう。また、市役所に通報してください。(TEL:563-1111)

げげに亀裂が入る。げげから小石が落ちる。	川が濁ったり、流木がまざりはじめる。	雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。	斜面から水が噴き出る。げげから水が流る。	斜面にひび割れができる。	土曜りの音が聞こえてくる。
----------------------	--------------------	-----------------------	----------------------	--------------	---------------

市指定避難所  
本庄小学校(3km)  
徒歩約1H